

公益社団法人化学工学会 粒子・流体プロセス部会

2025 年度第 1 回定例幹事会 議事録

日時:2025 年 9 月 17 日(水)12:00-13:00

場所:芝浦工業大学 CF 会場(教室棟 4 階 407)

出席(敬称略): 仁志(議長)、太田、岩崎、伊奈、押谷、金井、島田、春藤、立元、長津、日出間、水田、吉田、寺坂(監事)、竹中(監事)、小林(事務局)、古川(事務局)、佐武(書記)

欠席(敬称略): 加納、菰田、中田、増田

議題案

<確認事項>

1. 前回 2024 年度年会幹事会、総会(2025 年 3 月 12 日)議事録の確認

仁志部会長から、資料 1、2 に基づき前回定例幹事会議事録について説明があり、承認された。

<協議事項>

1. 本年度部会配分金および分科会への配分について

仁志部会長から、資料 3 に基づき、部会への収入及び分科会への配分額について説明があり、承認された。

2. 部会の継続審査について(資料 4、部会長・仁志)

仁志部会長から資料 4 に基づき、部会の継続審査についての説明があり、継続で承認された。申請は今年度中に終わらせ、手続きは次年度に継承されるスケジュールであることが説明された。

3. 流動層分科会の活動停止、閉会について

仁志部会長と流動層分科会代表押谷先生から、資料 5 に基づき、流動層分科会の 2026 年 3 月以降の活動休止について説明がなされ、承認された。また、粒子・流体プロセス部会規約(分科会の設置) 第 10 条に基づき、2026 年 3 月開催予定の総会にて、流動層分科会の解散を協議事項とすることとなった。

また、化学工学会部会規程(分科会)第 13 条-第 3 項 に基づき、流動層分科会の所持している資金について、部会内で移動することについては問題ないことが確認された。流動層分科会の活動については主に粉体プロセス分科会へ引き継ぎ、分科会会員については、他分科会への移籍の希望調査などを通して各分科会に移動していただくことで準備を進めることとなった。

4. 特別法人会員について(資料 6、部会長・仁志)

仁志部会長より、資料6に基づいて、法人会員に関する部会規約の変更について説明がなされ、今後、規約改正に向けて準備をしていくことで承認された。

2024年の部会規約改正により、現在の「分科会特別法人会員」には「化学工学会非法人会」が該当し、分科会において、化学工学会非会員の個人会員と法人会員については分科会ごとに会費や徴収方法を決めて運用している状況で、化学工学会会員の法人会員（分科会法人会員）は会費を払わずに分科会に所属している。

「分科会特別法人会員」に、「化学工学会法人会員」と「化学工学会非法人会員」を含める規約に改正し、法人会員が「分科会法人会員」もしくは「分科会特別法人会員」いずれかを選択できる形で運用できるようにしていきたい。3月の総会での部会の規約の改正の承認を目指して準備を進めることとなった。

「分科会特別法人会員」と「分科会法人会員」の会費の金額や特典の設定などは分科会ごとにあらためて検討する必要がある。

5.第 91 年会における国際シンポジウムについて

菰田幹事の代理で事務局古川幹事より、資料7に基づき、次の年会でミキシング技術に関する国際シンポジウムを部会として開催を申請することが説明され、承認された。部会シンポジウムを年会の1日目午後に行い、2日目に国際シンポジウムを開催するスケジュールで計画することとなった。

6.その他(部会長・仁志)公募情報の ML 配信について

仁志部会長より、資料8に基づき、部会メーリングリストでの公募情報の配信について説明がなされ、職業安定法への抵触を防ぐために、今後は部会のメーリングリストやホームページでの公募情報の配信を行わないことが説明された。

7.次年度部会体制

仁志部会長から来年度以降の部会幹事について、太田幹事が部会長、加納幹事が副部会長を継続、気泡・液滴・分散工学分科会から副部会長をお一人選出することについて説明があり、承認された。参加できる範囲で2026年3月の年会幹事会にて新旧幹事で顔合わせすることとなった。

<報告事項>

1.2025 年度第 1 回部会 CT ・部会長合同会議報告

仁志部会長より資料999に基づいて部会CT・部会長合同会議について報告がなされた。

2.学会各賞、部会 CT 賞の推薦について

仁志部会長より例年通り進めていることについて説明があった。

3.部会賞進捗状況の報告

吉田幹事より、分科会のシンポジウム賞について審査結果を吉田先生と菰田先生にメールで送信するよう説明があった。

4. ニュースレター進捗報告

日出間幹事から8月に発行済みと説明された。仁志部会長より、巻頭言について部会長が2回執筆の必要があるかとの提言があり、あらためて議論することとなった。

5.MMPE2025 実施報告

寺坂監事（MMPE2025 議長）より、MMPE2025 が無事に開催されたことが説明された。

6. 「第13 回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」準備状況

伊奈幹事より、資料9に基づき、準備状況について説明された。予算通り、学生の交流会費を部会から補助金として支出することとなった。

7.2025 年度部会セミナー実施内容および準備内容の確認

特になし

8.HP 関連報告

特になし

9.各種役割分担

特になし

10. 分科会報告

特になし

11. その他 ビジョンシンポジウムについて

仁志部会長からビジョンシンポジウムにおいて部会の活動について紹介するとの説明があった。